

## 事業概要

- 1 事業名称 鈴鹿青少年センターと鈴鹿青少年の森の整備運営事業
- 2 事業目的  
本事業は、県と事業者が連携し、青少年をはじめとした、幼児から高齢者までの幅広い世代が、自然に親しみ、学び、楽しみながら心身の健康維持や学習活動等を行うことができ、県内外の方々が集い、にぎわい、つながるような施設、空間の実現を目指すことを目的としています。
- 3 事業期間 令和4年3月24日から令和23年3月31日まで
- 4 事業方式 本事業は、以下の2つの事業で構成されます。
  - ア) PFI 事業：センターを設計及び建設（改修）した後に開業準備を行い、事業期間中に係るセンター並びに森公園（特定公園施設を含む）の運営及び維持管理業務を実施する事業
  - イ) Park-PFI 事業：公園内に飲食店等の収益施設（公募対象公園施設）を設置し、そこから得られる収益を活用して、その周辺の駐車場やトイレ等の公園施設（特定公園施設）を一体的に整備する事業
- 5 契約の相手方
  - ア) PFI 事業：鈴鹿フォレストパートナーズ(株)  
※本事業実施のために設立されたSPC（特別目的会社）  
代表はフロンティアコンストラクション&パートナーズ(株)
  - イ) Park-PFI 事業：フロンティアコンストラクション&パートナーズ(株)
- 6 契約締結事業者の主な提案
  - (1) 「教育」を軸に、様々な体験を生む空間を循環させる施設改修計画の提案  
センターと森公園の両方にアプローチできる新設エントランスや、宿泊サービス棟の多様性の向上など遊環構造理論に基づいた「わくわく」できる施設へと改修します。
  - (2) アウトドア施設等の新設も含め、本施設周辺の自然環境を活かした提案  
センターの運営では、青少年をはじめとした幼児から高齢者までの幅広い世代が自然に親しみ、学び、楽しみながら心身の健康維持や学習活動ができるプログラムの提供を行います。
  - (3) 県民のためのサービスを提供できる県民主体の運営組織形成に関する提案  
森公園の運営・維持管理では、市民協働組織を立ち上げ、地域住民や各種団体等の活動を支える公園運営を行います。
  - (4) 既存の景観や園路と調和した建築形態などに関する提案（Park-PFI 事業）  
既存樹木を最大限活かした通路線形と車室配置とした駐車場や、調和した色彩の屋外トイレ、建物周辺を腰掛スペースとした落ち着いた雰囲気のカフェなど、森との一体感を重視した特定公園施設・公募対象公園施設とします。
- 7 今後の予定

項目	スケジュール	
休業期間	センター：令和5年4月～令和6年3月 森公園：なし（部分的に工事閉鎖エリアあり）	
リニューアルオープン（第1期）	令和5年2月	ロードサイドエリアの開業（Park-PFI 事業）
リニューアルオープン（第2期）	令和6年4月	センター開業および運営開始

～ イメージ図 ～

※本イメージ図は、提案資料として提出されたものであり、実際の建物とは異なる場合があります。



鈴鹿青少年センター外観



鈴鹿青少年センター洋室



鈴鹿青少年センター大浴場



特定公園施設 [駐車場]



特定公園施設 [屋外トイレ]



公募対象公園施設「カフェ」

～ 事業位置図 ～

